



創刊号

かごしま

あ

い

ら

# 市議会だより

まむし太鼓 25周年記念 始良市の未来に思いを込めて

No.1

一般会計  
予算

264億円 16.9%の増

ページ  
2

旧3町の事業を継続

4

一般  
質問

暮らしやすい始良市を 23人

12

声

傍聴席から

24

6月定例議会

平成22年8月31日発行

# 264 億円

一般  
会計



▲新市スタート、議案説明をする笹山市長

福祉事務所の設置等で

# 16・9%増

市長の施政方針や予算説明を受け、また身近な課題等を捉え、市長の考えをいただきました。  
(要旨は12〜23ページに掲載)

## 23人が一般質問

陳情書2件、請願書2件のうち、それぞれ1件ずつを採択、2件を継続審査としました。  
(要旨は10ページに掲載)

## 中央弓道場設置についての陳情書を採用

合併後、本格的に予算等を審議する定例会を6月15日から7月20日迄の36日間の会期で開きました。

笹山市長の施政方針に始まり、22年度一般会計予算や特別会計予算、及び22年度補正予算の審議、条例の変更のほか陳情などの議案を審査し提案の全てを可決しました。



# 施政方針



笹山市長

県内で一番暮らしやすいまち「始良市」実現のために、真に市民の側に立った市政運営を行い、市民と職員が一緒になって、目指してまいります。

また、「総融和の市政」「合併してよかったと市民が等しく実感できる市政等」を実現してまいります。

## 7つの基本方針

### ①共生・協働によるまちづくり

- ・効率的な行政サービスの提供
- ・人口減少がみられる集落の交通手段の確保
- ・女性の社会的地位の向上や男女共同参画社会の推進

### ②地域の特性を活かした魅力あるまちづくり

- ・「始良はひとつ」という考えを基本にしつつ、それぞれの地域が独自の魅力を放つ、一体感あるまちづくりの推進

### ③創造性豊かな活力ある産業の育つまちづくり

- ・交流人口拡大による商工業の振興と企業誘致
- ・特色ある農産品づくりと守り育てる漁業の推進による「始良ブランド」商品の確立
- ・新幹線全線開通を見据えた新たな観光資源としてのPR

### ④自然にやさしく、人にやさしいまちづくり

- ・太陽光や風力、バイオマスを活用した新エネルギーの推進
- ・防災体制の整備や食の安全・安心の確保を目指し、危機管理体制の充実
- ・安心して過ごせる始良市の実現

### ⑤ともに支えあい、いきいきと暮らせるまちづくり

- ・心とからだの健康づくりの推進
- ・バリアフリーな始良市を実感できるハード・ソフトの両面で施策を展開
- ・子育て世代における経済的負担の軽減や、安心して生み育てられる育児教育の環境整備

### ⑥心豊かな生きがいのある人づくり・まちづくり

- ・家庭・学校及び地域が一体となった青少年健全育成の推進
- ・伝統文化や芸能の継承
- ・芸術文化の振興や文化財の保存

### ⑦効率的な行政経営によるまちづくり

- ・聖域なき行政改革の推進
- ・徹底した事務事業の見直しと新たな財源確保

# 始良市 予算

## 新生始良市予算決まる

合併後、初めてとなる平成22年度始良市一般会計予算の歳入歳出総額は264億200万円となり、合併前の21年度3町合計予算額の16・9%の増となりました。

今回の特色として、市制施行に伴い、福祉事務所が設置され生活保護費等が予算計上されたことや、電波法の改正に伴うデジタル化整備等防災無線に関する経費が計上されたことです。

**口蹄疫対策関連の補正は5億4千万円**

4月に宮崎で発生した口蹄疫対策として、5千4百万円が計上されました。セリ市が延期されたことによる農家への補助

また、災害等による傷病者の搬送を適切に行うため、高規格救急自動車購入費が計上されました。

金や車両等の消毒に要する経費です。

## 始良市総合基本計画の策定

今回合併したことにより、総合基本計画を策定する必要があります。そして、これに沿った「実施計画」を策定し、緊急性を要するものから、財源に配慮して計画的に実行することが大切です。

## 税金など依然として厳しい市財政

厳しい経済不況を反映して、22年度税収は市民税・法人税など合併前の

3町前年度に比べ幾分減収です。そのため、市債(借金)に依存することになり依然として厳しい財政運営となります。



▲新生始良市へ願いをこめて

# を**継続**します

# 福祉事務所を**設置**



▲新たな命を育む豊かな海をつくります（ヒラメ放流）

一般会計は、合併前の旧3町の事業を継続して実施するための予算が計上されました。

一方、市制施行に伴い、始良市福祉事務所が設置されて生活保護費等及び、国策の子ども手当など新たな事業が予算に組み込まれました。その結果、合併後の一般会計予算が、合併前の21年度3町の合計予算額に対して、16・9%増額しました。

また、これまで一部事務組合であった「始良西部衛生処理組合」と「始良西部消防組合」が始良市の組織になったため、従来3町の負担金であった費目が人件費等に変更されました。

## 始良市に福祉事務所を設置

市制施行に伴い、社会福祉法に基づき福祉事務所を設置しました。

福祉部門の職員数81人の内訳は、始良庁舎55人、加治木庁舎14人、蒲生庁舎12人です。

生活保護関係は、始良庁舎に設置され、保護第

一係6人、保護第二係6人で運営しています。

新たな事業に的確に対応するため、県職員が2人派遣されています。

生活保護費は、生活保護法に規定する生活扶助、教育扶助、医療扶助、介護扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助で、総額は、15億3829万9千円です。



# 旧3町の事業

始良市基金一覧表

単位：万円

区 分	22年度末見込	目 的
財政調整基金	22億7,566	財源不足を生じた時に活用
減債基金	2億2,626	市債の償還に必要な財源
国民健康保険基金	3億8,270	保険給付の支払いを円滑に処理する
土地開発基金	10億6,611	公共用に供するために必要な土地を予め取得
青少年育成基金	4,000	青少年育成を円滑・効率的に行う
国保高額療養資金貸付基金	475	高額医療費支払い困難者への対策
育英事業基金	1億 261	就学困難な学生生徒の援助
福祉対策推進基金	5,668	福祉活動の活性化を図る
地域づくり推進基金	3億0,000	始良市の地域づくりを円滑・効率的に推進する
市庁舎建設基金	5,438	市庁舎建設に要する経費に充てる
中山間ふるさと・水・土保全基金	3,088	土地改良施設の機能発揮と集落共働の強化
図書購入基金	6,650	市立図書館の蔵書の充実を図る
介護給付費準備基金	1億6,853	保険給付費用に要する費用の不足に充てる
高額介護サービス資金貸付基金	381	介護保険の被保険者で支払い困難な世帯に貸付
出産育児一時貸付基金	300	国保被保険者で出産費用の10分の8を限度に貸付
介護従事者処遇改善臨時特例基金	2,054	21年度報酬改定に伴う激変緩和に充てる
市有施設整備積立基金	2億 413	市有施設の整備に充てる
畜産特別導入事業基金	5,028	肉用牛資源の確保と高齢者の福祉向上に充てる
地域下水処理基金	1億3,078	下水処理事業に費用不足を生じたときに対処
農林業労働者災害共済基金	4	災害共済補償費に不足を生じたときに対処
地域福祉基金	6億 795	高齢者の保健と福祉増進、在宅福祉の推進に充てる
松下文庫基金	300	青少年の健全育成に充てる
牛舎整備資金貸付基金	1,000	肉用牛生産農家のコスト節減と生産向上に充てる
合 計	58億 858	



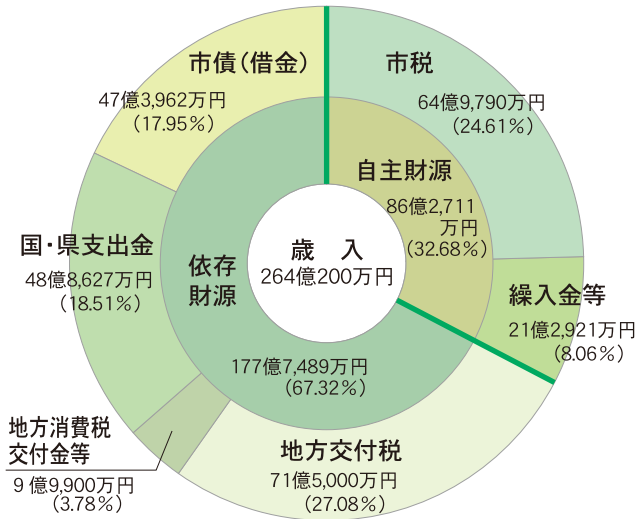
▲夏休み宿題塾に取り組む教員OBと子どもたち（松原上自治会）

**基金58億858万円**  
**地方債351億1349万円**

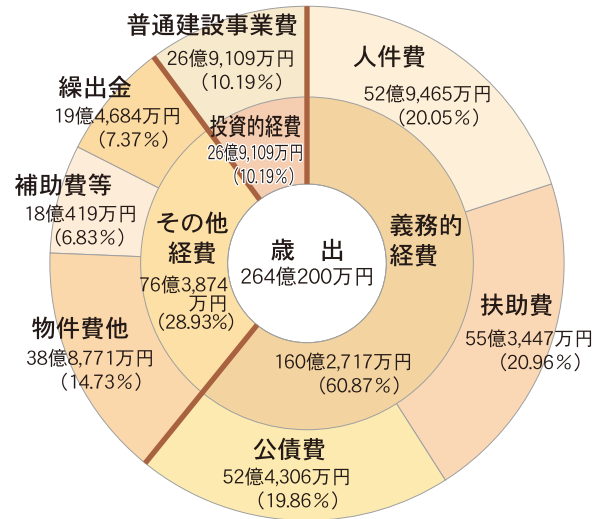
一般会計予算総額は、264億200万円。基金は、22年度末の見込額58億858万円。一般会計当初予算には、財政調整基金6億円と、減債基金1200万円を繰入れていきます。一方、地方債（借金）の総額は、351億1349万円ですが、交付税で191億6080万円が戻され、実質の地方債総額は159億5269万円が見込まれます。新たな事業への取組は、交付税措置される事業を活用することが重要です。

# 歳入と歳出の財政比較

## 歳入



## 歳出



### 依存財源の増額

歳入は、自主財源と依存財源に区分されます。子ども手当と生活保護等の新規事業による国・県支出金と道路新設改良等に充てる市債(借金)が増額しました。

### 義務的経費の増加

歳出は、義務的経費、投資的経費、その他の経費に区分されます。扶助費は、始良市になって福祉事務所が設置されたため、生活保護関係の事務が県から移譲され約15億円増額しました。人件費は、合併したことで始良西部衛生処理組合と始良西部消防組合への負担金が人件費等に移行して増額しました。



▲ようやく実現した父子世帯児童扶養手当

### 父子世帯にも児童扶養手当を支給

これまで母子世帯だけ支給していた児童扶養手当が、法律改正により父子世帯に対しても支給されます。

(8月1日施行)

対象者は64人で、月額3万1285円支給され、総額は約800万円です。

### 小学校修了前までの医療費助成

市長は、子育て世代の経済的負担を軽減するため、乳幼児医療費助成を小学校修了前まで拡大すると公約しました。

施政方針でも9月議会で条例改正と予算案を上げると述べています。



区 分	予算額	構成比	概 要 説 明	
一 般 会 計	264億 200	65.02	市の仕事の一般部門を担う予算	
特 別 会 計	国民健康保険事業	77億5,300	19.09	国民健康保険対象者で74歳までの住民
	国民健康保険施設事業	7,700	0.19	北山診療所の運営経費
	後期高齢者医療	7億9,700	1.96	75歳以上を対象にした医療保険
	老人保健医療	180	0.00	21年度で廃止（清算事務）
	介護保険保健事業	50億6,480	12.47	介護給付事業
	介護保険サービス事業	6,359	0.16	介護サービス事業（予防計画作成等）
	簡易水道施設事業	1億2,588	0.31	一般上水道未整備地域の簡易水道
	農業集落排水事業	6,140	0.15	山田地域の農村下水道
	地域下水処理事業	2,603	0.06	一定区域の下水路を伴う合併浄化槽施設
	農林業労災共済事業	253	0.01	農林作業中の事故等の救済制度
土地区画整理事業	2億3,340	0.57	帖佐第一土地区画整理事業	
計	406億 842	100.00		



▲健康体操で予防対策

**国保は77億5300万円  
介護は50億6480万円**

会計別予算総額は、406億842万円です。一般会計は、全体の65.02%です。特別会計の国保は、77億5300万円、介護は50億6480万円、介護は50%です。高齢化とともに医療費や介護サービスが伸びて、財政が厳しくなります。

今後基金の繰入や税率改正などが予想されます。医療費抑制のためには予防対策がとてども大事になります。

**討 論**  
(一般会計)

**賛成 27人**  
**反対 2人**

森弘道議員

里山和子議員

私は、次のような理由で22年度始良市一般会計予算について賛成討論を行います。

①合併前3町の平成21年度当初予算合計額の16.9%増であること。  
②地方債は、従来からの継続事業に対するもので、行政需要に対処するものであること。  
③歳出では、人件費が全体の20.1%を占めるが、西部衛生処理組合など、一部事務組合へ負担金として歳出していたものであり、大きくかわらないこと。  
④口蹄疫に対して、農家支援補助金が308万円計上されていること。  
⑤予算規模が大きくなり、思い切った施策が可能となったこと。

里山和子議員  
予算総額264億円のうち、自主財源が86億2711万円で32.7%を占め、依存財源が約177億4788万円で67.3%となっており、自主財源比率が旧始良町と比較して13%低下している。

市債が約47億円と歳入の18%を占め、公債費は約52億円で歳出の2番目で19.9%を占めている。

公債費が大きいので、暫時大きな借金を抑制し、財源状況を好転させないと、市民の福祉や教育等のサービスが後退しかねない状況にある。行政改革は市民サービスを後退させないこと。市政では大型開発や箱物行政を慎重に検討し、人の命を大切にしている。行政が求められている。



▲巡回バスをもっと便利に

地域 **特集** 密着型

暮らしやすいまちづくり

県内で一番暮らしやすいまち「始良市」をめざし、平成22年度に予定されている身近な事業からピックアップしてみました。

バス運行に補助金 **2578万円**

**質疑** 旧3町にはお年寄りなど交通弱者のためにそれぞれ巡回バス等があった。合併してその路線の連携など市全体の公共交通対策を考える必要があるのではないか。

**答弁** 循環バス（旧加治木町）、巡回バス・JR代替バス（旧蒲生町）、ふるさとバス・上名乗合バス（旧始良町）がそれぞれ運行されている。今後は、さらに便利な路線等を考えて生活の足となる交通手段確保のため施策を進める。



▲整備が待たれる木田本通線

蒲生中央公園の整備

**4000万円**



▲遊具も増える蒲生中央公園

**質疑** どのような公園の整備をするのか。

**答弁** 平成5年に設置された公園で、遊具の老朽化による損傷も目立つようになっていた。宝くじ協会に申請していた助成金が決定し、改修費に1000万円、新しい遊具設置に3000万円を予算化した。

木田本通線の整備 **2000万円**

**質疑** 目的と場所は。

**答弁** 車道6m、歩道2.5mに改良するもので、社会資本整備総合交付金事業の活用により、5か年計画で総額2億2500万円の事業である。

**質疑** 工事の内容、期間、予算は。

**答弁** 子供達の通学路でもあり、歩道が狭く起伏が多いため交通安全上も問題があった。新生町の小鳥神社前交差点から飯地坂入口まで全長1500mである。



## 藻場・干潟の再生 235万円

質疑 目的は何か。

再生80ヘクタールを予定している。藻場を育て干潟の耕耘、エイの駆除等

答弁 漁協、NPO法人、漁業関係者で協議会をつくり、4年間で藻場の再生3ヘクタール、干潟の

を行い、アサリや魚族の繁殖保護を図る。



▲アサリがもっと獲れますように（重富海岸）

## 合併処理浄化槽 1億4200万円

網掛川、別府川、思川等の河川浄化と、錦江湾の豊かな自然を守り継いでいく意味から、今年度も引き続き、合併処理浄化槽への設置補助を390基分実施する。また今年には単独浄化槽からの切り替えを促進するため、30基分の単独槽撤去費用についても補助をする。

## 補正予算

### 口蹄疫対策に 5406万円

4月20日宮崎県内で口蹄疫が確認されて以来、県内への侵入防止のため、始良市も消毒ポイントに職員を派遣し、防疫対策に貢献した。  
9月末まで子牛のセリ市延期、及び防疫作業継続を想定し、農家支援も含めて補正予算を計上した。

6月23日以降はシルバ1人材センターからも445人を追加派遣している。  
質疑 経費の内訳は。  
答弁 職員の時間外手当5月から9月分910万円。防護服、消石灰、消毒液など256万円。人材派遣委託料600万円など。  
質疑 子牛セリ市延期に伴う農家支援は。  
答弁 5月から9月まで延期を想定し、子牛1頭当り1か月1万円を補償する。総額2790万円。

## 始良駅周辺の整備 測量設計 1000万円

質疑 場所と工事内容は。

答弁 旧国道10号より始良駅へ通ずる市道を新設し、駅周辺の交通緩和と、その新設市道の下に思川へ放水する大型排水溝を設け、駅周辺の雨水排水対策を同時に行う事業である。今年その測量設計を行う。



▲この一帯の排水対策も改善

## 防犯ブザー貸与 55万円

質疑 不審者・変質者等の事件が発生しているが、市内の全児童に対し防犯ブザーの貸与は考えないか。

答弁 旧始良町はすでに実施している。今年から市内全ての小学生に貸与する。

今後とも、関係団体・家庭・地域との連携を一層深め、安全確保に努める。



▲早く終息して欲しいなあ

# 請願と陳情

## 採 択

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充等を求める意見書を提出することの請願書

請願提出者 山下秀和



▲健やかな成長を願って

将来を担う子どもたちへの教育は極めて重要です。子どもたちが全国どこに住んでいても教育の機会均等が担保され、教育水準が維持向上されるよう、来年度の概算要求に向けて国の各機関へ意見書を提出していただくことを要請します。



## 意 見 書

議会は、請願の主旨に沿った意見書を内閣総理大臣ほか関係各大臣に提出しました。

## 採 択

(仮称)

始良市中央弓道場の設置を陳情

陳情提出者 山口武文

始良市の各弓道場には遠的射場がありません。現在の弓道競技は、近的競技と遠的競技が実施されており、(国体・県体・地区体)遠的射場の設置が急務です。新市の総合的な運動施設の一部として、始良市中央弓道場の建設について陳情します。



▲待ち望まれる中央弓道場

## 継 続 審 査

- ◎自主共済制度の保険業法適用除外を求める意見書提出を求める陳情書
- ◎都市景観の骨格を成す街路樹・公園樹の健全育成を求める請願書





▲24時間体制で消毒作業

議会議発

「口蹄疫対策」  
意見書を提出

宮崎県内で発生した口蹄疫侵入を防止するため行政をはじめ各機関団体が一体となって自主防疫を展開してきました。

宮崎県と隣接する本県に口蹄疫が拡大すると、壊滅的な影響を受け、一日も早い終息に向けた取り組みが緊急の課題です。

市議会では、議会発議により、早急な感染防止策及び畜産農家に対する特段の支援策を求め、

- ①防疫対策の強化
- ②畜産経営安定対策の強化を柱とした意見書を、内閣総理大臣ほか関係各大臣に提出しました。

副市長 決まる

「始良市副市長定数条例」を制定し、副市長に西慎一郎氏（鹿児島県総務部参事・市町村体制支援担当）を選任しました。



西 慎一郎氏  
(55歳・東餅田)



▲加治木町伊勢神社虫除踊り

特別委員会を設置

「議会の基本条例」  
の制定を目指し

地方分権の時代を迎え議会が主体的に活動することが求められています。

そこで議会及び議員活動の活性化と充実に必要な議

会運営の基本事項を定め、始良市発展のために議員活動を通して市政に市民の意思反映をさせることを推進する「始良市議会基本条例」を制定するために調査特別委員会を設置しました。

議長を除く全議員が構成委員となり、7月20日より条例制定までを調査期間とします。

- 委員長 出水 昭彦
- 副委員長 玉利 道満

人権擁護委員を推薦

任期は法務大臣が委嘱した日から3年です。



古城るり子氏  
(56歳・西餅田)



黒田 静子氏  
(67歳・平松)



海老原博子氏  
(69歳・反土)

監査委員を選任

議会推薦

識見



和田 里志氏  
(56歳・池島)



椀 隆志氏  
(53歳・西餅田)

# 始良市の実現へ

一般質問

23人



湯川逸郎議員



出水昭彦議員

## 道路改良

### 交通難所の改善

市長／危険箇所の解消を図る



▲改善を望む高速道下トンネル

出水 合併して旧3町の円滑な融合を図るために、地域間連絡道の危険箇所、高速度下（加治木24トンネル）の拡幅や、県道42号の歩道の確保、街路灯の完備が望まれるが、考えはないか。

市長 平成22年度計画路線は、市道森・船津線でシヨッピングセンター前の道路拡幅と歩道の改良を行う。

他の危険箇所は逐次改良して解消を図る。

## 資源物

### 収集方法の改善

市長／調整を進めている

湯川 資源物収集は、市民の意見を反映し、高齢者等の負担を軽減しますと公約しているが、いつから改善するのか。

市長 来年度からは旧3町の分別・収集方法をできるだけ統一する方向で

現在調整を進めている。現況調査や市民の方々の様々な声を聞きながら、具体的な方策・手法を提示できるように努力する。

### 学童保育の充実

市長／必要な方策を講じる

出水 市内のほとんどの小学校で放課後児童クラブを実施している。

子どもたちの、安全を考慮すれば、学校の余裕教室や学校内の安心して利用出来る施設を活用し、運営を図る考えはないか。

市長 放課後児童健全育成事業など国の動向を踏まえ、余裕教室のない学校は改修工事、学校敷地内等への専用施設の整備も含めて、教育委員会と調整を図り対応する。



# 暮らしやすい 始



堀 広子議員

## 国保税

### 1万円の値下げを

市長／基金は災害等に備える



▲高い国保税値下げを

堀 高い国保税を引き下げるため、基金の一部を活用し、ひとり1万円の値下げで市民の命と暮らしを守るべきではないか。

市長 基金残高は3億8000万円程度あるが、災害や流行性の病気などの急な出費に備えるため、取り崩しできない状況である。

### 中小業者に仕事を

市長／指名委員会で協議

堀 中小企業のくらしを守るため旧加治木町で実施していた小規模工事登録制度を、始良市でも継続できないか。

また、対象工事額の上限を霧島市並み（130万円未満）に引き上げ受注の機会を増やすべきではないか。

市長 副市長の体制が整ったので、指名委員会等で協議し検討する。

### その他の質問

- 国保の一部負担金の減免制度
- 住宅リフォーム助成制度



▲市民の意見を反映した収集方法に改善を

### 火葬場建設計画

市長／早期実現を目指す

湯川 市民は時代に即した斎場を望んでいる。火葬場建設の計画は考えないか。

市長 あいらい斎場は、老朽化が進んだ現状であるので、建設計画を考えて

いる。

現在、建設場所・規模・経費などについて検討を行い、できるだけ早い時期の完成を目指すように、関係部署に指示している。

## まちづくり

### 具体的施策

#### 市長／通年型観光地づくり



和田里志議員

和田 創造性豊かな活力あるまちづくりの一環として、地元資源に脚光をあてた新たな観光ルートを開発と通年型観光地づくりを目指すところがあるが、その具体的施策は何か。

市長 市の観光シンボル「日本一の巨樹 蒲生の大楠」「山田の凱旋門」「龍門滝」といったメインの観光地を巡るコースの確立や歴史探訪コースが考えられる。ハード面の年次の整備も含めて来年度、新幹線全線開業を見据え、本年度は、「始



▲市民の要望に応じた支払い方法で

良市」の広報活動に重点を置いていきたい。

#### 税金等の支払い方法 市長／コンビニでも納付へ

和田 市民の生活に根差した行政サービスの充実を掲げているが、特に税金・公共料金の支払方法について。

市長 各種市税や公共料金の支払いについては、

コンビニエンスストアでも納付できるように改善の方向で、市民の多様な生活様式に合わせたサービスを提供できる行政経営を目指し、行政改革大綱において、その方向性を明らかにしたい。

#### その他の質問

○桜島の降灰対策

○使われなくなった備品等の処分



堂森忠夫議員

### 解体撤去し更地を活用

市長／解体する必要がある

#### 永原保育園

堂森 旧永原保育園利用について、建物を解体撤去し、更地を校区の次世代間交流広場として、児童と地域の人たちとの語らいの場にしてはどうか。市長 校区公民館としての活用を検討したが、改修に相当な経費が発生するので断念した。

安全性を考慮し解体する必要があると考える。跡地活用については、校区公民館運営審議会と協議を進める。

#### 青少年に豊富な体験を 教育長／多様な活動を展開

堂森 子どもたちが、生きる力・学ぶ力を自然に学び身につける為に、豊富な農業体験の場や地域

活動へ喜んで参加する企画はできないか。教育長 学びの動機付けや学びの基礎としての体験を重視し、農業体験活動など多様な活動を展開している。今後とも、学校での体験活動の充実に努める。

その他の質問  
○口蹄疫でイベント中止の反応



▲更地にしての有効利用を望む





▲騒音不満が出ている網掛川鉄橋

# マニフェスト

## 子ども医療費無料化

市長／平成23年1月から実施



法元隆男議員

- ① 子ども医療費無料化を小学6年生までとしているが、いつからか。
- ② 不妊治療費助成
- ③ 「あいら齋場」建替え
- ④ 「消防署」の建替え

- ⑤ 事業評価外部委員会(50人委員会)はどうなるか。
- 市長 ① 医療費無料化は、23年1月から実施。
- ② 不妊治療費助成は、他の助成制度と優先度を勘案し、実施に向け検討。
- ③ 「あいら齋場」は、構想、見通しについて検討の段階である。早い時期の完成を目指す。
- ④ 「消防署」は、来年度策定の「総合計画」に位置づける。
- ⑤ 事業評価委員会は先進

自治体を参考に設置する方向で検討していく。

### JRの鉄橋の防音 市長／要望を検討

法元 JR網掛川鉄橋の騒音について住民より強い不満が出ている。

市長 現況を調査し、JRに要望できないか検討する。

## 上場の振興

### 人口減少対策

#### 市長／施策の推進に取り組む

桃木野 上場地区等の人口減少を止める手立てをどう考えるか。

また、高岡公園の整備計画を示せ。

市長 新規就農者を確保・育成するため「担い手育成支援協議会」の活用や奨励金の交付及び加治



桃木野幸一議員



▲拡張工事が待ち遠しい高岡公園

木地区のキャロットや、始良・蒲生地区の有機野菜の販路等の確立を図る。

また、高岡公園は23年度に拡張工事、24年度に照明施設の設置を計画している。通称「京セラ用地」は錦江湾に浮かぶ桜島が眺望できるので、このようなロケーションを生かした事業展開ができないか検討している。

### 観光の振興

市長／整備に取り組む

桃木野 九州新幹線全線開通を来年春に控えているが、宿泊施設が少なく

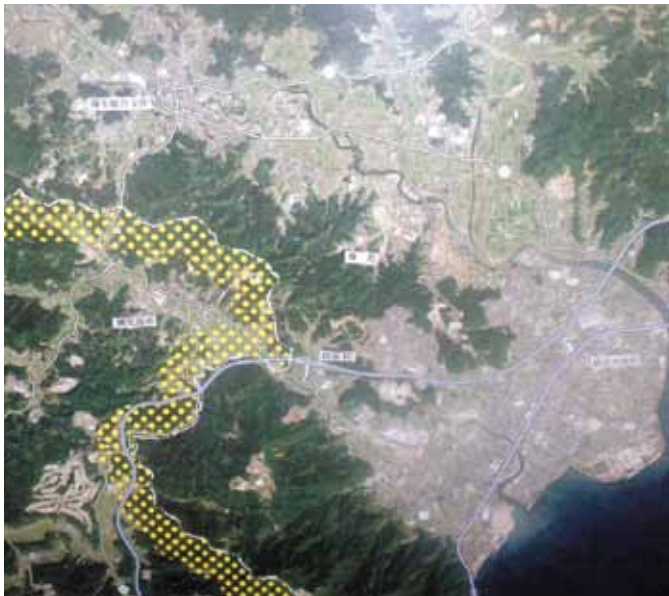
観光客は素通りするといわれる。対策と新幹線開通後の予想される観光客数はいくらか。

市長 宿泊を伴わない短期滞在型として、JRとの連携や、市内4か所のゴルフ場の活用を図る。

新幹線開通後は、現在の1.5倍の観光客数を目標とするが、座談会や50人委員会を活用して、観光にテーマを設けて、意見を総合計画に反映していく。

### その他の質問

- 校区公民館制度
- 未利用用地の活用



▲将来を展望した始良インターチェンジへ

## 地域活性化

# 県央物流の拠点

市長／始良市発展の鍵



湯元秀誠議員

**湯元** 将来的展望の観点から始良インターチェンジへ北側（春花地区）からのアクセス導入は中部・蒲生地域の北西部発展に投資効果は大きいと考えられる。今後調査の考えはないか。

**市長** 提案は始良インターチェンジの活用とあらゆる土地活用の可能性を拡大させる有意義なもの。他の可能性も含め調査研究したい。

### 上場振興策

市長／総合計画策定で議論

**湯元** 以前、蒲生の西浦く漆く木津志く北山く溝辺への広域農道計画が頓挫したが、上場地域にも生活圏の拡大、利便性の条件整備が必要。始良市

の環状線として新市のビジョン策定に盛り込めな  
いか。  
**市長** 以前の計画は、伊集院・蒲生・溝辺線を優先すべきとされ、以後協議はなされていない。木津志く漆の間を含め市全域の道路網について議論検討したい。

**その他の質問**  
○川内・加治木線パイプス促進

## 降灰対策

### ロードスイーパーの導入

市長／予定はない



田口幸一議員

**田口** ロードスイーパーの導入を急げ。近隣自治体の状況はどうか。

**市長** 近年、桜島の火山活動が活発になり、車の走行で火山灰が舞い上がったり、洗濯物が灰まみれになったり、市民の皆様も大変困っている。

降灰を除去するため、国土交通省、鹿児島県、鹿児島市、垂水市では、清掃車や散水車を導入して作業をしている。

本市においては、鹿児島市、垂水市と比較して距離や風向きにより降灰量は少ないように思われる。

清掃車や散水車が特殊な車両のため、大変高額であるので、購入の予定はない。

**その他の質問**  
○脇元地区の自治会再編  
○平松地区へ企業誘致  
○実質赤字比率



▲始良庁舎でも降灰量が測定されています。



## 医療情報

### 冷蔵庫に保管

市長／導入を検討する



竹下日出志議員

竹下 高齢者や障がい者健康上不安を抱えている人の安全・安心のため、医療情報を入れたキットを冷蔵庫に保管する「救急医療情報キット」を配布する考えはないか。

市長 この事業は、かかりつけ医師などの医療情報や、健康保険証の写し、緊急連絡先などの情報を専用容器に入れ、万に備える事業である。今後、申請方式での導入を検討する。

その他の質問  
○地域経済の活性化策  
○行政サービスの向上



▲医療情報キットで安心して暮らせます

### デマンド乗合タクシーの導入

市長／地域交通考える会設置

竹下 高齢化社会が進行する状況で、交通弱者の新たな移動手段として、デマンド型乗合タクシーを導入する考えはないか。

市長 必要なとき、必要

に依ってタクシー等が送迎するシステムの導入は交通弱者の方々には有効な制度である。今後、公共交通の見直しを行っていく中で、仮称・地域の交通を考える会を立ち上げ、調査研究する。

## 実態調査の方法

市長／無作為抽出で調査

### 総合計画



神村次郎議員

神村 新市の総合計画の策定について、実態調査の内容、旧町の総合計画をどのように引き継ぐかをどのようにつなげるか。市長 計画にあたり実態調査は、市内全域から16歳以上の市民の無作為抽出による6000人を対象に調査する。市民参加の手法として、

アンケート調査、地域住民からの聞き取り、パブリックコメント等を実施する。

旧町の総合計画は、新市まちづくり計画により要素を取り入れ引き継ぐ。

### 防犯対策

市長／意識の高揚を図る

神村 始良市内の犯罪発生率は、県内でも上位にある。

安心して暮らせるための対応をどう考えるか。市長 自転車盗の発生件数が多い。

警察、防犯協会や学校等と連携し、また、防犯ボランティアの方々協力も得ながら、市民の防犯意識の高揚を図る。

その他の質問  
○市職員の定員適正化計画



▲二重ロックで盗難防止



▲原水爆禁止を（原水爆禁止2010年世界大会より転載）

# 非核平和

## 宣言都市に

市長／早期に取り組みたい



里山和子議員

里山 今年の5月、ニューヨークの国連本部では核不拡散条約再検討会議が開かれ、核兵器廃絶の「明確な約束」を実行することが求められた。始良市でも非核平和都市宣言を実施し、庁舎に垂れ幕をかけたたり、平和の取

り組みはできないか。

市長 真の平和実現を願う市民の総意として、早期に宣言を行う作業に取り組みたいと考えている。

### 信号機を早急に

市長／スペースがない

里山 楠元橋付近の交差点は、朝1時間に1000台近く車が通る。信号機を早急に設置できないか。

市長 現場確認の結果、

変型交差点であり、信号柱を立てるにはスペース的にも問題がある。付近の住宅が立ち退くか、川を埋め立て道路を拡幅するなど周辺整備が進まない限り、信号機の設置はできない。との県警本部からの見解が示された。

### その他の質問

- 口てい疫対策
- 資源、ゴミ収集
- 重富駅裏周辺整備
- 温泉入浴券の利用

## 行政改革

### 人事考課の導入

市長／早急に取り組む



河東律子議員

河東 「効果的な行政運営による市政」としての行政改革の一環として、人事考課の導入を考えないか。  
市長 人事考課は、一連の公務員制度改革の流れの中で提唱されている能

力評価と業績評価を踏まえた人事評価制度の構築に向けて、早急に取り組みたい。  
職員の能力構築、人材育成のための効果的な人材育成のツール（手段・方法）として検討していきたい。

### 公園トイレの水洗化

市長／年次的に整備

河東 公園の水洗化が遅れている。年次的に水洗化に取り組む考えはないか。

市長 始良市内135か所の公園のうち、水洗トイレ23か所、汲み取り式が17か所ある。  
公園トイレの水洗化が遅れていることは認識している。  
補助金がないか調査しながら、年次的に整備を図っていく。

### その他の質問

- 子宮頸がんワクチンの助成
- 子ども手当で、保育料・給食費の未納解消



▲明るい雰囲気職員でのやる気と能力アップを



## 介護施設

### 小規模多機能型設置

市長／整備に取り組む



東馬場弘議員

#### 消防庁舎の建替えは

市長／検討するよう指示

東馬場 中央消防署の庁舎は、昭和47年運用開始で38年が経過し、建替え時期にきている。市民の

安全・安心を考慮すれば早急に取り組むべきであるがどうか。  
市長 消防庁舎は、市民の安全・安心を守る拠点施設として中心となるところであり、建替えについては、現在、関係部署に検討するよう指示している。

#### その他の質問

○始良市長・市議選

東馬場 今後の高齢者介護は、施設入所を最後の選択肢と考え、切れ目のないサービスを一体的・複合的に提供する、小規模多機能型サービス拠点が必要だが、その取り組みを示せ。  
市長 介護保険運営推進協議会において、今後の利用実績等を勘案し、本年秋に実施する高齢者のニーズ調査の結果を踏まえて、サービス拠点の整備に取り組む。



▲介護サービスの整備を望む高齢者たち

## 具体的な実施時期

市長／4年後に達成率を公開

### 市長の公約



安田 久議員

安田 選挙の公約とは、任期4年間で実現させることを、市民への約束として掲げるものと私は理解するが、このことについて市長の見解はどうか。

市長 それぞれの施策については、確実に達成できるもの、道筋をつけるもの、市民に施策を問うもの、条例改正など議会の理解を得なければならぬものなど、4年の任期を全うする段階で達成率を公開することにより、評価していただきたいと考える。  
●不妊治療費助成は、各種ワクチン接種助成など他の未導入助成を勘案しながら対処する。  
●消防署は老朽化しており、安全・安心なまちづくり拠点として、市の総



▲市の補助金を待ち望む太陽光発電

合計画で検討し建て替えるを実施する。  
●住宅の太陽光パネルの補助は、現在国と県の補助がある。市で助成を実施しているとところもあるが財政支出も伴うため、調査研究する。

#### その他の質問

○実施計画

## 集落維持

### 定住人口の増加

市長／実施計画で取り組む



玉利道満議員

玉利 若年人口の増加を図るための対策を示せ。

市長 人口減少に歯止めをかけ定住人口の増加を図ることが重要と考える。山田地区の公営住宅については、旧始良町で策定された実施計画の取り組み等も勘案したうえで、今後策定する始良市の実施計画の中で取り組んでいく。

- その他の質問
- 市長の政治姿勢
- 観光の振興



▲食料品を扱う商店が閉店した山田地区

### 交通網の構築

市長／考える会を

玉利 市内の交通網をどのように構築するか。

市長 (仮称)「地域の交通を考える会」を立上げる予定。その中で総合的に検討する。

山田地区の問題として、地区唯一の商店が閉店し、食料品等を扱う店がなくなっただけでも承知している。交通の移動手段を持たない高齢者の方も多く、市としても緊急を要する課題であるところらえている。

湯之原 現在、休校中の大山小学校と新留小学校の今後の取り扱いについてどう取り組むか。

### 休校小学校

### 今後の取り組み

教育長／保護者の意向踏まえる



湯之原一郎議員

来年度、それぞれ1人ずつの新入学児童が予定されているが、保護者の意向を踏まえつつ、児童の教育的効果が最もあがるような方策を検討したい。

### 情報インフラ整備

市長／整備を図る

湯之原 ブロードバンド未整備地域の整備方針について問う。

市長 高速・大容量のインターネットサービスが提供されていないのは、北山、木津志、上名、漆の4地区が該当。情報インフラ整備は、若者の定住促進の大きな要件である。本年度アンケート調査等により、地域住民の意向を伺いながら、整備を図りたい。

- その他の質問
- 公共交通対策
- 集落支援員制度



▲休校中の新留小学校





▲建替えが望まれるあいら斎場

あいら斎場

今後の計画

市長／最優先に取り組む



上村 親議員

上村 建設に向け前向きに取り組む考えだが、総合計画で検討し、後年度負担にならない建設事業にできないか。  
市長 建設計画については、来年度策定する総合計画の中で、最優先に取

り組む予定である。建設方法については、起債の活用だけでなく、後年度負担にならない方法・手法はないか、運営方法について、検討を指示している。

地デジ難視地域は

市長／調査し対応する

上村 始良市全域を対象に受信状況を調査されたが、難視地域とその対策はどうするのか。放送開

始まで解消できるのか。  
市長 市では、9地域が難視地域に指定され、その解消と改修を進めている。平松城瀬地区は、中継局の電波が届きにくいことから、中継局の増設をお願いしてきたが、混信が想定され、増設は難しいと回答があり、民間による協同アンテナで対応する。

その他の質問

○始良市総合計画

小学校建設

建昌小の適正化

市長／新市の審議会を開催



笹井義一議員

笹井 始良町小中学校区審議会は、児童数に対して教室数や校庭の広さが不足すること、今後も人口増加が見込まれること等から「新たな小学校の建設は必要」という答申が出された。  
市長は、施政方針で慎

重に検討すると述べたが、詳しい説明を求める。  
市長 建昌小学校の教育環境を改善することは、緊急の課題である。  
今年度始良市の小中学校区審議会を開催し、答申内容を再確認して、総合計画に位置づけて、住民説明会を実施したい。  
教育長 児童数880人、学級数29学級で今後も増加傾向にある。  
児童数に対して教室数や校庭の広さが不足し、昼休みに全校児童の一斉



▲建昌小学校プレハブ校舎 新設小学校の早期実現を

活動ができにくい。早急に分離新設することが望ましい。

その他の質問

- 総合計画と実施計画の策定期
- 幼児の細菌性髄膜炎の予防対策



森 弘道議員

## 道路整備

### 通学路の安全

市長／予算内で早期実施

森 危険を感じる通学路や生活道路の整備は急務だ。関係者の協力と理解があった道路については、早急に整備すべきだ。痛ましい園児の事故が起きた。現場の安全対策を急

市長 同意書等のあった道路については、危険度を見極めながら予算の範囲内で早期に実施する。亡くなられた園児のご冥福を心からお祈りする。県において防護柵が設置される。

### 公園トイレの水洗化

市長／年次計画で実施

森 公園の水洗化が遅れている。有料公園は全体的に何か所あるか。うち、くみとり式は何か所か、年間利用者の多い公園から順次整備せよ。バリアフリーを考えた費用は概算でいくらか。

市長 全体で5か所あり、くみとり式が思川公園と帖佐グラウンドである。利用状況や建築年数等を考え年次的に整備する。費用は概算で1か所当たり2500万円程度である。

### その他の質問

○合併の効果とデメリット

○総合計画と自治基本条例

新福 乳がん・子宮がん検診受診率における無料クーポン券の効果と今後の方向性を問う。



新福愛子議員

## 女性支援

### 検診無料クーポン

市長／継続をめざす

▶ 21年度受診率と前年度との比較

	乳がん	前年度比	子宮がん	前年度比
始良	35.9	11.4↑	33.4	5.1↑
加治木	24.7	3.0↑	21.1	2.1↑
蒲生	18.4	1.2↑	18.5	0.7↑

市長 国の無料クーポン券の補助率が全額国庫補助から2分の1補助へと減らされたが、5年間は継続したい。休日検診も実施する。

### 加治木空襲の日

市長／本庁も半旗を

新福 昭和20年8月11日の、加治木空襲の日に、「平和のつどい」はできないか。  
市長 市は当日、本庁舎に半旗を掲げる。  
8月15日は庁舎で半旗を掲げ黙とうを呼びかけ、平和への願いを深めていく。

錦江小校区では、平和のつどいが開催される。

### その他の質問

○ワクチン（ヒブ、肺炎球菌、子宮頸がん）の助成



▲女性の笑顔、いつまでも



▲今年整備予定の高樋～南宮島線





▲解体決定、跡地利用は慎重に

# 市営住宅

## 募集は抽選で

市長／要領等を検討



森川和美議員

森川 市営住宅状況と、入居者で高額所得者及び、収入超過者はいるか。入居募集は抽選式にすべきだ。  
市長 公営住宅は、住宅に困っている低所得者へ低廉な家賃で賃貸する住

宅。本市の6月末合計で1464戸管理している。高額所得者はいない。収入超過者は61人である。募集方法は、抽選方式に向け、適用時期や待機者の処遇、募集要領等について検討している。

**業務量の多い部署への対応**  
市長／支援体制を組む

森川 これからの人事は極めて大事である。適正かつ公平に、専門性、技術性、特性を生かせ。また業務量の多い部署へ他の部署から適時配置せよ。

市長 職員の職歴、職務実績、資格、研修等の経歴管理を人事・給与システムの中でデータベース化し、職員の適性・潜在能力の活用に努めながら公平公正に行う。

業務量の多い部署に対しても支援体制を組みながら対応を考える。

### その他の質問

- 市長の公約
- 行財政改革
- 3世代同居促進

## 建昌城跡地

### 観光の振興

市長／今後、調査・研究



萩原哲郎議員

萩原 春は花見、子供には軽遊園地、高齢者にグラウンドゴルフ、景観を眺望出来る展望台を作り、観光の振興に役立てる考えはないか。

市長 観光面を含め、さらに調査・研究が必要である。

今後、植栽された桜等の花が咲き誇るようになると、個性的な観光自然公園として、市民の皆様・市外のお客様にも利用してもらええる施設になっていくものと考ええる。

- その他の質問
- 森山交差点の改良
  - 船津公園に倉庫設置
  - 公園トイレの整備



▲建昌城跡地に展望台を

**資源物収集改善**  
市長／調査研究する

萩原 資源物収集、高齢者の負担が、少しでも軽減できる改善策を示せ。有価物の収集方法を、各自治会に任せる考えはないか。

市長 資源物収集は、負担が軽減できるような手法を調査研究する。有価物の収集は、収集する予定量により処分の単価契約をし、買い取っている。スポーツ少年団等で実施している。



▲生き生きとした人生は、自らの生き方で。

# 傍聴席から

新市になって初めての定例議会でしたが、145人の傍聴者がありました。

多くの皆さまから貴重な御意見をいただきました。十分参考にして新市の運営に役立てたいと思います。

○難産の合併でしたが、新・始良市になり議会傍聴に来ました。真剣な議論がなされていました。

始良市民で良かったと言ってもらえる市にしていきたいですね。

(40代女)

○以前と比べて非常に良くなった。質問者に対して的確な対応がなされていた。

(60代男)

○一般質問が真剣に議論されている最中に、居眠りしている議員が多い。

防止策としてケーブルTV中継を導入するよう強くお願いします。

(50代男)

○初めて傍聴しました。

これからは始良市政に少し目を向けようかなと思うことでした。

(60代女)

○梅雨さなか 熱気ムンムン 市議会や

新市長 若さあふるる

声息かな

傍聴の 席がら空き

我れひとり

(70代男)

○スムーズな議会運営と幅広い質問のために、重複質問は議員間で調整すべきです。

(60代男)

○以前の町議会と比べ、審議の内容が充実してきて。傍聴者が増えてほしい。

(60代男)

## こころが聞きたい

Q 一般質問は、希望でするのですか。

A 質問をした人が、前もって文書で通告します。質問の順番は抽選で決めます。

Q 質疑と質問はどう違うのですか。

A 質疑は議題に出されたものについて、疑義をたします。質問は、行政全般にわたります。

たつて、執行機関に疑問点をたすものです。

・質疑 3回30分以内  
・質問 答弁を含めて60分以内、1問1答方式

Q 身体障害者専用の傍聴席を望みます。

A 議員席の後ろの方に車いす専用の席があります。

# 傍聴席へ どうぞ

車いす席もあります

次回は9月上旬予定

## 編集後記

新市初の予算審議と施政方針に対し、23人の議員が一般質問に立ち、36日間わたる熱い6月議会が閉会しました。新市の船出を、多くの皆様が傍聴されました。

各常任委員会から2人ずつの8人が広報委員として議会だよりを発行することにになりました。

議会では、より充実した議会運営を目ざして議会基本条例を作るための特別委員会を設置しました。

任んで良かったといえるまちづくりにつながるように、取り組んで参ります。

(新福)

編集・発行責任者

議長 兼田 勝久

広報等調査特別委員会

委員長 河東 律子

副委員長 新福 愛子

委員 笹井 義一

委員 竹下日出志

委員 堂森 忠夫

委員 堀 広子

委員 桃木野幸一

委員 安田 久